

しらゆりホーム地域連携推進会議

日時：令和 8 年 1 月 16 日（金）

10：00～

進行：阿南新一

記録：矢田初恵

- 1、 開会の挨拶
- 2、 出席者の紹介
- 3、 議題
 - 1) 会議設置の目的の説明
 - 2) グループホームの紹介
 - 3) 今後の連携方法についての意見交換
- 4、 施設見学
- 5、 閉会の挨拶

グループホームしらゆり

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和8年 1月16日金曜日 10:00～12:00

開催場所 障がい者支援施設 潔き聖母の家 事務所会議室

【出席者】

しらゆりホーム利用者代表 柳井幸子氏

しらゆりホーム家族代表 嶺嘉代子氏

地域住民代表 安東鉄男氏（臼杵市議会議員）
上野健二氏（寺小路区長）

行政関係職員 二宮貴司氏（臼杵市福祉課参事）
薬師寺浩二氏（臼杵市福祉課副主幹）

潔き聖母の家職員（事務局） 富永ミツ子（施設長）
阿南新一（地域支援課長）
矢田初恵（サービス管理責任者）

【議事】・・・詳細別紙あり

○出席者の自己紹介

○会議設置の目的の説明

○グループホームの紹介

・グループホーム利用者様について

（出身地・利用開始日・年齢層・平日・週末の日中の生活の様子等）

○地域の現状・課題の共有

○今後の連携方法について

○会議設置の目的

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、関係機関・団体が連携し、支援体制の充実および課題解決を図ることを目的とする。

また、障がい福祉サービスに関する情報共有と協議を通じて、切れ目のない支援体制の構築を推進する。

- ・ 障がい福祉に関する地域課題・ニーズの把握と共有
- ・ 行政、相談支援事業所、福祉サービス事業所、医療・教育機関等の連携強化
- ・ 障がい福祉サービスの質の向上および支援体制の整備
- ・ 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

○グループホーム（しらゆり 1.2.3）の紹介

平成 16 年 4 月 グループホーム「しらゆり」知的障がい者地域生活援助事業
開始 （しらゆりホーム 1）

平成 18 年 1 月 グループホーム「さざんか」知的障がい者地域生活援助事業開
始 （しらゆりホーム 2）

平成 18 年 10 月 グループホーム「しらゆり・さざんか」をケアホーム（共
同生活介護事業）に

平成 20 年 4 月 1 日 しらゆりホーム 3 事業開始

平成 26 年 4 月 ケアホーム事業をグループホーム（共同生活援助）に名称変
更（法律改定による）

令和 3 年 11 月 1 日 しらゆりホーム 1 廃止。グループホーム定員 15 名→11 名

○グループホーム利用者様について

<しらゆりホーム 2>（女性）（4 名）

A 様 竹田市 平成 18 年 1 月 24 日より利用

B 様 佐伯市 平成 18 年 3 月 13 日より利用

C 様 臼杵市 平成 29 年 5 月 1 日より利用

D 様 臼杵市 令和 3 年 9 月 1 日より利用

<しらゆりホーム 3> (男性) (5 名)

- A様 豊後大野市 平成 20 年 4 月 8 日より利用
B様 由布市 平成 16 年 4 月 1 日より利用
C様 宇佐市 平成 20 年 4 月 1 日より利用
D様 竹田市 平成 20 年 4 月 1 日より利用
E様 豊後大野市 令和 7 年 10 月 16 日より利用

○しらゆりホーム利用者様の年齢層

<GH2> 63 歳～72 歳までの 4 名で生活

<GH3> 32 歳～73 歳までの 5 名で生活

日中の利用者様の生活の様子

- ・(しらゆりホーム 2) 4 名の方は日中、地域活動支援センターを利用
- ・(しらゆりホーム 3) 4 名の方は日中、地域活動支援センターを利用
1 名の方は就労継続支援 B 型を利用

・週末は各ホームで過ごす

・散歩

・週末買い物(お弁当やおやつ等) 町内外

・その他は自室でテレビ・音楽視聴・塗り絵・編み物など

・不定期で外食(ジョイフル・暖家)

・季節に合った衣類購入や個人の希望する物の買い物

・地域のお店でおやつ(ドライブを兼ねる)

※(なずな)のソフトクリーム・(回転焼きふくちゃん)の回転焼き等

・地域のお祭りやチャリティショーに参加(休みが合えば)

・大分市のイベント(去年は障がい者の交歓会)

・カラフルカフェ(臼杵市の障がい者交流センターすくらむ・

野津市民交流センターゆるるで開催)

※参加は全て利用者様に意思を確認し、参加して頂いている。

○平成 16 年の開所当初より、利用者様・保護者様より、苦情受付にご指摘等はありません。

○地域の現状・課題の共有

・地域の方との関係性

以前はふれあい会やクリスマス会など地域の方に声をかけて参加して頂いていたが、コロナ禍以降、家族の方の参加は出来ているが地域の方を呼んでの開催が難しい状況である。(計画していても直近で感染症が出てしまう。)

・利用者様の高齢化(重度高齢化への対応)

現状、潔き聖母の家の本体に戻ることは難しい。

(65歳以上が一つのラインとなる。)

毎年、ご家族、ご本人に今後どういうふうに生活したいか等、確認しているが、皆さんグループホームで生活したいということで現在、生活している。今後、グループホームでの生活が難しくなった場合は介護保険などを使って老人ホーム等の施設を利用するようになると思う。

・地域の方との交流も少ない。

最初の頃は利用者様も若くて歩いて潔き聖母の家に通う事が出来た。

その際は地域のお店の方が積極的に誘導してくれるなど助けて頂いていた。

利用者様も高齢化して歩いて来ることも困難になり送迎をするようになり、地域の方に知って頂く機会がなくなっている。

・地域との連携・交流が必要

現在、地域活動センターからの送迎時もワゴンの乗降場所に長椅子を置いてくれたり、雨の日は軒下を貸してくれるなど地域の方に支えられている。

地域の方に知って頂くためにもこちらから近くのスーパーに買い物に行くなどホームから出て行く事が必要。

○今後の連携方法についての意見交換

・八朔祭りに毎年、職員の方が参加しているが、短時間でも一緒に踊ったり(歩くだけでも良い)、町中の「ゆるる」まで行き、地域の方々と交流が出来たらと思う。

・日中、散歩などをして地域の方と挨拶を交わしたりするのも良いのではないかと思う。

- ・地区の総会に参加してグループホームの紹介や見かけたらお願いします等の挨拶をすると良いかなと思う。
- ※知っているのは知っているが、今まで一度もそういうことはしていない。
- ・地域の行事に参加するのも良いと思う。(吉四六まつりなど)

○その他

- ・現在、他物が借家⇒新しく作ってバリアフリーにし、高齢の方も住みやすいグループホームにしていきたいという思いはある。
(潔き聖母の家からあまり遠くない場所・・夜間の応援などを考えて)
- ・よりよいサービス提供をしたいと思っても、人材が必要となって来る。
新たに人材を確保することが難しい状況である。
- ・グループホームの世話人も60歳以上の方ばかりなので、今後の人材確保をどうするかが課題である。
- ・臼杵市の自立支援協議会の中でも福祉事業所全体でブースを開いたり、求人の出来るような体制に取り組もうという話もある。
いろんな情報提供をこちらからもしていく。
- ・2月にある福祉フォーラムで求人のブースをたちあげようという話はある。
(就労部会で検討中)
- 働きたいと言う人が話を聞けるような状態を作っておきたい。

○11:00～

しらゆりホーム2・3 見学